

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | | |
|----------|------|----------------|---|---|------------|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 | 目標達成状況(任意) |
| 1 | 5cd | 看護計画に基づいた日々の支援 | 利用者1人1人の日々の生活を記録し、家族に見てもらう。職員で、共有出来る記録作成。 | 入所者1人1人の日々の生活(入浴、食事、排泄等)の中で気付きや、出来事など記録ノートに記載し、家族に読んでいただき、内容について意見や希望があればノートに記載か、口頭にて伝えてもらう。記録ノートは日々職員間で共有、共通の認識を高める。 | 1 か月 | |
| 2 | 13a | 日常的な外出支援 | 入所者が戸外で気分転換がはかれるように、居室に閉じ込まないようにする。 | 専用車がないため遠出は出来ないが、近所の散歩や家族の協力をお願いし、戸外外出をする。外出時、体調等充分気をつける。重度寝たきりの方も体調が良ければ、キッチン・リビング等で過ごしてもらう。 | 6 か月 | |
| 3 | 43c | 虐待防止の徹底 | 重度寝たきりの方の下部衣類を着用。言葉づかいによる虐待があることを知る。排泄に使用するオムツ関係の物を他の所に使用しない。 | 職員の都合で下部衣類を着用させないことのないように。会話時、言葉づかいに気を付け、入所者に不快な思いをさせない。オムツは排泄のみ使用。他の場所必要時、タオルなどを使用する。 | 1 か月 | |
| 4 | 49 | サービス評価の取り組み | サービス評価の取り組みなど家族や地域住民にとって身近な取り組みとなるように、家族や地域住民と共に理解を深めて行く。 | サービス評価の意識や目的を、事業所全体で理解し、課題解決に向けて意見やアドバイスを出し合う。 | 6 か月 | |

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。